



2020年11月9日

各 位

会 社 名 株式会社ユーザベース
代表者名 代表取締役CEO 梅田 優祐
代表取締役COO 稲垣 裕介
(コード：3966、東証マザーズ)
問合せ先 執行役員CFO 千葉 大輔
(TEL: IR専門問合せ窓口03-4533-1999)

**Quartz事業からの撤退に伴う米国子会社の商号変更及び同社株式譲渡（子会社の異動）
並びに特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ**

当社は、2020年11月9日付の取締役会決議によって、Quartz事業から撤退すること、及び当該撤退に伴い発生する特別損失の計上並びに業績予想の修正を行うことを決定しましたのでお知らせします。なおQuartz事業撤退に際しては、Quartz Media, Inc.（以下、「Quartz社」といいます。）及びNewsPicks USA, LLC他連結子会社2社（以下、「Quartz社連結子会社」といい、Quartz社とあわせて以下「Quartz社等」といいます。）を100%子会社に有するQuartz Intermediate Holdings, Inc.（旧商号：Uzabase USA, Inc.、以下「Quartz Intermediate社」といいます。）の全株式をQuartz社の現CEOであるZachary Seward氏（以下「Seward氏」）が設立し議決権の過半数を有するQuartz Media Holdings, Inc. に対して譲渡する形となります。

1. 子会社の異動の理由

当社グループは、世界中で利用される経済情報インフラを構築するというミッションの下、2013年のSPEEDA事業のアジア展開をはじめ、これまで積極的に海外展開を推進してきました。その一環として、2018年7月に、米国を中心にグローバル展開する経済ニュースメディアを運営するQuartz社を買収しました。Quartz社買収後、既存事業である広告事業に加えて有料課金事業の立ち上げのための積極的な投資を行い、足下、順調に有料会員数が増加しています。

しかしながら、年初来、新型コロナウイルスの感染拡大により、米国を中心に企業の広告出稿を抑制する動きが強くなり、2020年5月14日には広告事業を中心としたリストラクチャリングの実行を決定し、広告市況の回復状況を見ながら事業運営を行ってきましたが、足下、当初想定した事業計画を達成することが出来ていません。

今後も米国の広告市況の見通しが不透明であること、買収当初に掲げた3年間で黒字化させるという目標の達成が困難な状況になっている事を踏まえ、当社の投資に関する規律に従い、当社グループの経営資源をより高い成長が見込めるSPEEDA事業とNewsPicks事業に集中させるべく、Quartz Intermediate社の全株式を譲渡し、Quartz事業から撤退することを決定しました。

一方で、買収当時と同様、Quartzのブランドと読者に高い価値があることに変わりはなく、有料課金事業も順調に成長しています。この度の決定にあたり、様々な選択肢を多面的に検討した結果、今後の両者の長期的な成長を考えた場合において、上場会社である当社グループの連結から外れ、今回決定したQuartz社の現経営陣への株式譲渡の形が総合的に最善の選択肢であると判断するに至りました。

当社グループは、譲渡に先立ち、Quartz Intermediate社が保有するQuartz社関連資産以外の資産等を当社が新たに設立した米国子会社に移管しており、これにより同社は北米地域における統括会社としての機能を失いました。今回の譲渡に伴い、後述するようにUzabase USA, Inc.は商号をQuartz Intermediate Holdings, Inc.に変更し、移管先の米国子会社の商号は、Uzabase USA, Inc.とし、今後当該会社が当社グループの北米地域における統括会社としての機能を担うこととなります。

本譲渡により、当連結会計年度の売上高は当初業績予想より減少する見込みですが、EBITDAは当初予想よりも大きく改善する見込みです。また、赤字であったQuartz事業が連結から除外される事に加え、のれんの減損及びあらゆる一時的損失（撤退に伴う最終損失は約5,810百万円）を今期に一括計上する事で、来期以降、当社のEBITDA及び営業利益以下の段階利益は大きく向上する見込みです。

なお、本譲渡後、当社代表取締役CEOの梅田優祐は、Quartz Media Holdings, Inc.に対して当面の事業運営に必要な資金を個人としての地位で貸し付けることを予定しています。当社取締役会および監査等委員会は、この貸し付けにより、梅田優祐が市場における一般的な金利以上の利益を受けることがないことを確認しております。

また、当社取締役会及び監査等委員会は、本譲渡については公正なプロセスを経て株式譲渡相手先との交渉により決定していることから、その取引条件は公正なものであると認識しております。

2. 子会社の商号変更について

(1) 当該子会社の概要

商号 Uzabase USA, Inc.
 代表者 President 梅田優祐
 所在地 160 Greentree Drive, Suite 101, City of Dover, County of Kent, State of Delaware 19904
 事業内容 Quartz社の持株会社
 資本金 123,343千米ドル

(2) 当該子会社の新商号

Quartz Intermediate Holdings, Inc.

(3) 商号変更の理由

Quartz事業撤退に伴う同社の株式譲渡（子会社の異動）のため

(4) 商号変更日

2020年11月6日（米国時間）

3. 譲渡する子会社の概要

① Quartz Intermediate Holdings, Inc.（旧商号Uzabase USA, Inc.）

(1) 名 称	Quartz Intermediate Holdings, Inc.	
(2) 所 在 地	160 Greentree Drive, Suite 101, City of Dover, County of Kent, State of Delaware 19904	
(3) 代表者の役職・氏名	President 梅田優祐	
(4) 事 業 内 容	Quartz社の持株会社	
(5) 資 本 金	123,343千米ドル	
(6) 設 立 年 月 日	2018年5月30日	
(7) 大株主及び持株比率	当社100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社の特定子会社です。
	人 的 関 係	役員の内兼任
	取 引 関 係	管理業務の業務受託
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態		

決算期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期第2四半期
連結純資産	113,070千米ドル (12,540百万円)	87,025千米ドル (9,533百万円)	85,916千米ドル (9,256百万円)
連結総資産	119,245千米ドル (13,225百万円)	101,595千米ドル (11,129百万円)	89,900千米ドル (9,685百万円)
1株当たり連結純資産	1,130千米ドル (125百万円)	861千米ドル (94百万円)	850千米ドル (91百万円)
連結売上高	21,489千米ドル (2,414百万円)	26,994千米ドル (2,943百万円)	5,030千米ドル (544百万円)
連結営業利益	△228千米ドル (△25百万円)	△25,376千米ドル (△2,767百万円)	△15,003千米ドル (△1,624百万円)
連結経常利益	△1,960千米ドル (△220百万円)	△25,290千米ドル (△2,758百万円)	△14,741千米ドル (△1,596百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,388千米ドル (380百万円)	△25,552千米ドル (△2,786百万円)	△17,293千米ドル (△1,872百万円)
1株当たり連結当期純資産	33千米ドル (3百万円)	△254千米ドル (△27百万円)	△171千米ドル (△18百万円)
1株当たり配当金	0米ドル (0円)	0米ドル (0円)	-

(注) 2018年12月期は設立からの8ヶ月間の業績数値になります。

(注) 換算レートは、貸借対照表においては2018年12月期が110.91円、2019年12月期が109.55円、2020年12月期第2四半期が107.74円になります。また、損益計算書においては2018年12月期が112.34円、2019年12月期が109.06円、2020年12月期第2四半期が108.30円になります。(以下、同様)

②Quartz Media, Inc. (当社からみて孫会社)

(1) 名称	Quartz Media, Inc.		
(2) 所在地	675 Avenue of the Americas, Suite410, New York, NY 10010		
(3) 代表者の役職・氏名	CEO: Zachary Seward		
(4) 事業内容	グローバル市場向け経済メディア「Quartz」の運営		
(5) 資本金	89,660千米ドル		
(6) 設立年月日	2012年9月		
(7) 大株主及び持株比率	Quartz Intermediate Holdings, Inc. 100%		
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の特定子会社です。	
	人的関係	役員の兼任	
	取引関係	管理業務の業務受託	
(9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
決算期	2018年12月期	2019年12月期	2020年12月期第2四半期
連結純資産	42,605千米ドル (4,725百万円)	19,715千米ドル (2,159百万円)	19,283千米ドル (2,077百万円)
連結総資産	48,646千米ドル (5,395百万円)	33,708千米ドル (3,692百万円)	22,804千米ドル (2,457百万円)
1株当たり連結純資産	85.21米ドル (9,450円)	39.43米ドル (4,319円)	32.63米ドル (3,515円)
連結売上高	21,489千米ドル	26,994千米ドル	5,030千米ドル

	(2,414百万円)	(2,943百万円)	(544百万円)
連結営業利益	1,860千米ドル (208百万円)	△20,119千米ドル (△2,194百万円)	△11,603千米ドル (△1,256百万円)
連結経常利益	128千米ドル (14百万円)	△20,184千米ドル (△2,201百万円)	△11,699千米ドル (△1,267百万円)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,067千米ドル (569百万円)	△20,396千米ドル (△2,224百万円)	△14,295千米ドル (△1,548百万円)
1株当たり連結当期純資産	10.14米ドル (1,138円)	△40.79米ドル (△4,448円)	△24.19米ドル (△2,620円)
1株当たり配当金	0米ドル (0円)	0米ドル (0円)	-

(注) 2018年12月期の業績については、買収後の5ヶ月間の数値となっています。

(注) 資本金の金額は、株式払込剰余金 (additional paid in capital) の金額を含んでおります。

(注) 2020年12月期第2四半期の1株当たり情報は2020年6月末の発行済株式数590,909株で簡易的に除して計算しております。

③NewsPicks USA, LLC (当社からみて曾孫会社)

(1) 名称	NewsPicks USA, LLC			
(2) 所在地	675 Avenue of the Americas, Suite410, New York, NY 10010			
(3) 代表者の役職・氏名	梅田優祐			
(4) 事業内容	グローバル市場向け経済メディア「Quartz」の開発、運営			
(5) 資本金	8,500千米ドル			
(6) 設立年月日	2017年3月27日			
(7) 大株主及び持株比率	Quartz Media, Inc. 100%			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	当社の特定子会社です。		
	人的関係	役員の兼任		
	取引関係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2019年6月期	2019年12月期	2020年12月期第2四半期
純資産		355千米ドル (38百万円)	40千米ドル (4百万円)	40千米ドル (4百万円)
総資産		423千米ドル (45百万円)	40千米ドル (4百万円)	40千米ドル (4百万円)
売上高		0千米ドル (0百万円)	0千米ドル (0百万円)	0千米ドル (0百万円)
営業利益		△4,585千米ドル (△509百万円)	34千米ドル (3百万円)	0千米ドル (0百万円)
経常利益		△4,585千米ドル (△509百万円)	34千米ドル (3百万円)	0千米ドル (0百万円)
当期純利益		△4,586千米ドル (△509百万円)	34千米ドル (3百万円)	△0千米ドル (△0百万円)

(注) 2019年6月期をもって決算期変更を行っております。2019年12月期は2019年7月～同年12月の6カ月間の数値であり、過年度の費用の戻入れにより営業利益が生じております。

(注) 当該会社はLLCであるため1株当たり純資産、1株当たり当期純利益、1株当たり配当金は記載していません。

(注) 換算レートは、貸借対照表においては、2019年6月期が107.75円、2019年12月期が109.55円、

2020年12月期第2四半期が107.74円になります。また、損益計算書においては、2019年6月期が111.12円、2019年12月期が108.06円、2020年12月期第2四半期が108.30円になります。

4. 株式譲渡の相手先の概要

(1) 名 称	Quartz Media Holdings, Inc.	
(2) 所 在 地	251 Little Falls Drive, Wilmington, DE 19808	
(3) 代表者の役職・氏名	CEO: Zachary Seward	
(4) 事 業 内 容	Quartz社等の持株会社(新設会社)	
(5) 資 本 金	5,625米ドル	
(6) 設 立 年 月 日	2020年11月2日	
(7) 大株主及び持株比率	Zachary Seward 88.89%	
(8) 上 場 会 社 と 当 該 会 社 の 関 係	資 本 関 係	該当事項はありません
	人 的 関 係	代表者及び大株主であるZachary Sewardは、子会社Quartz Media, Inc.のCEOであります。
	取 引 関 係	本譲渡後、当社代表取締役CEOの梅田優祐は、同社に対して当面の事業運営に必要となる資金を個人としての地位で貸し付けることを予定しています。
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	Quartz Media Holdings, Inc.の代表者及び大株主であるZachary Sewardは、子会社Quartz Media, Inc.のCEOであり、Quartz Media Holdings, Inc.は当社の関連当事者に該当します。

5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	101株 (議決権の数: 101個) (議決権所有割合: 100.0%)
(2) 譲渡株式数	101株 (議決権の数: 101個)
(3) 譲渡価額	今後、Quartz社の将来の業績およびコーポレートアクションによって決定されるため現時点では未定です。詳細については譲渡先との守秘義務により非開示となります。
(4) 異動後の所有株式数	0株 (議決権の数: 0個) (議決権所有割合: 0%)

(注) 譲渡価額については、上記の通り非開示としていますが、公正なプロセスを経て株式譲渡相手先との交渉により決定しており、公正な価額と認識しております。

6. 日 程

(1) 取締役会決議日	2020年11月9日
(2) 契約締結日	2020年11月9日

7. 連結財務諸表における特別損失の内容

今回のQuartz事業からの撤退による今期に計上される最終損失は約5,810百万円になる見込みです。撤退による損失のうち、2020年12月期連結財務諸表において、特別損失として約8,850百万円（2020年12月期第3四半期連結累計期間において、7,827百万円を減損損失として、また2020年12月期第4四半期連結会計期間において約1,023百万円を子会社株式売却損として計上する見通しです。）を計上する一方で、本譲渡に係る税効果により繰延税金資産が約3,040百万円生じる（法人税等調整額が△3,040百万円生じる）見込みです。なお、特別損失及び税効果の金額については現時点での概算金額であり、金額に重要な変更が生じた場合には、速やかにお知らせします。

8. 2020年12月期 通期連結業績予想の修正について

上記1.のとおり、Quartz事業から撤退することにより、Quartz事業は11月から連結対象外となるため、業績予想に対して売上高が減少し、EBITDA及び段階利益は増加します。また上記7.のとおり特別損失及び税効果が見込まれることから、2020年12月期（2020年1月1日～2020年12月31日）の連結業績予想を下記のとおり修正します。

	連結 売上高	連結 EBITDA	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,000～16,000	百万円 -	百万円 -	百万円 -	百万円 -	円 銭 -
今回修正予想 (B)	13,000	400	△410	△840	△6,890	△202.11
増減額 (B-A)	△2,000～ △3,000	-	-	-	-	-
増減率 (%)	△13.3%～ △18.8%	-	-	-	-	-
(参考) 前期連結実績 (2019年12月期)	12,521	△411	△1,236	△1,429	△1,620	△51.35

(注) EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

(注) 上記の予想値は、現時点における入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は今後の様々な要因により、予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

(注) 1株当たり当期純利益については、2020年12月期第3四半期累計期中平均株式数34,090,396株で算出しています。

以上